

戦争体験談DVDが完成しました

戦後75年事業 戦争体験を語り継ぐ ～平和の尊さを次世代へ～

総合政策課総務係 ☎(63)2138

戦争の記憶を後世に伝え、平和の尊さを次世代へと託していくことが私たちに課せられた使命です。今日の平和が、戦争で命を落とした人、傷ついた人の上に成り立っていることを決して忘れてはいけません。コロナ禍の今だからこそ、戦争体験者の話を視聴し、「平和」について考えてみませんか？

「戦争体験談DVD」が完成しました

鹿沼市では、「戦争体験を語り継ぐ会」と「鹿沼ケーブルテレビ」の企画・制作・監修により、市内の戦争体験者4人の証言を記録したDVDを製作しました。図書館や各コミュニティセンター等でDVDの貸し出しを行っているほか、市ホームページでも収録した動画を公開しています。

また、市ホームページでは、この他にも「昔語り文集」作成委員会の提供による戦争体験談を掲載しています。ぜひご覧ください。（「鹿沼市 戦争体験談」で検索）

① 濱野 祐郎 さん(90歳)



日本を襲った最初の空襲を目撃した。東京と鹿沼を行き来しながら、嫌というほど空襲を体験。中国での生活についての話も印象的。

② 廣田 閑子 さん(96歳)



満州に渡り、匪賊やオオカミを身近に感じる厳しい環境で過ごす。やがてロシア兵から逃れるため南下、引き揚げにも苦労した。

③ 福田 勇 さん(94歳)



都内・深川の仕事を先で東京大空襲に遭い、九死に一生を得た。地獄さながらの惨状だったという。命からがら鹿沼に戻り、鹿沼の空襲も体験。

④ 小野口 博 さん(95歳)



軍事教育を受けて育ち、出兵した。終戦後も帰国できず、中国の内戦に巻きこまれ、毛沢東軍を相手に戦った。

編集後記



戦争体験を語り継ぐ会
代表 稲葉 幸枝さん

コロナ禍の中で、人を集めずに多くの市民に戦争体験談を伝える方法はないかと考え、思い付いたのがテレビ放映でした。幸い、鹿沼ケーブルテレビの優れた映像制作に支えられ、鹿沼市の協力もあり、今回のDVDの制作が実現しました。改めて関係者や、特に4人の出演者には、深く感謝申し上げます。

制作にあたっては、「いかに子どもたちに分かりやすく伝えられるか」を念頭に置き、冒頭に太平洋戦争の経緯の説明を入れました。この部分、短い時間の中で誤りなく、過不足なくまとめるのはなかなか難しいものでした。また、理解しにくい言葉などは一部、用語解説を付けました。しかしながら、中には、聞き慣れない言葉もあると思いますので、調べたり、仲間や家族と話したりしながら、さらに理解を深めてほしいと思います。

また、「戦争体験を語り継ぐ会」では、数年前から小・中学校を訪問し、体験談を伝える活動をしています。直接話を聞くことで、身近に感じてもらえるようです。鹿沼に住んでいながら、鹿沼に空襲があったことを知らない人が増え、体験者の生の声を聞くことは、ますます貴重になっています。過去の歴史は未来への教科書です。ともに貴重な記録を子どもたちに伝え残しませんか。戦争時代の体験をお持ちの方は、本会へご連絡ください。

▼戦争体験を語り継ぐ会(稲葉)

☎080(5408)76003

「鹿沼ケーブルテレビ」では、「戦争体験を語り継ぐ会」との共同制作で、鹿沼市民の戦争体験談を収録したシリーズ「私は、戦争を知っています。」を不定期で放送しています。ぜひご覧ください。